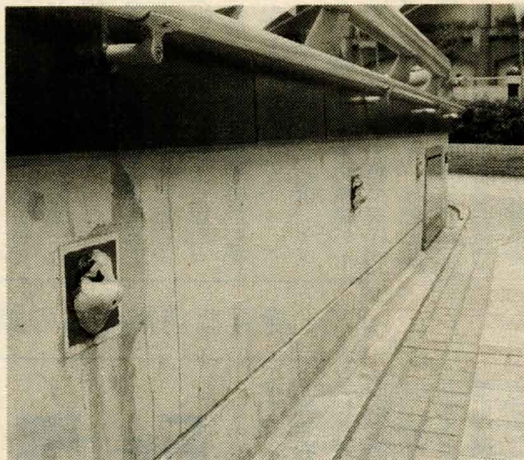


柏市民新聞

(毎月2、毎月4、金曜日発行 第3種郵便物認可)

第1335号

西口歩道橋に飾られた下総頑具



素朴でユーモラスなひょっとこやカッパなどの面が、柏駅西口の歩道橋の壁に飾られ、道行く人を楽しませている。この面の作者で、根戸在住の松本節太郎さん(97)が高齢のため、永年作り続けた下総玩具の引退を決めた。これを惜しむ市民有志による、「下総玩具の世界 松本節太郎作品展」(柏市教育委員会・アートワーク実行委員会共催)を、来月一日から五日まで、柏市民ギャラリーで開く。

下総玩具は、松本さんが代表的な作品が下総盲人形戦後になって作り始めた土で、西遊記や十二支、七福人形。カラフルな色彩と生神など多くの種類がある。生き生きとした表情が特徴だ。手びねりで形づくり、絵の

松本節太郎さん97歳 下総玩具作者

引退を惜しみ市民有志が作品展

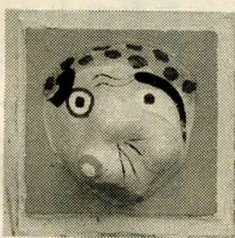
柏市民
ギャラリー
来月1～5日

具で顔を描き竹串に刺したさんの作品を一堂に見る、もの。さらにわら束に刺し、またとないチャンスとなる。同実行委員会の鈴木昇さんは「松本さんの手元になっっている。」

松本さんは明治三十六年、東京下谷生まれ。戦災に遭い昭和二十年、柏に疎開して来た。戦後の職がない時代に、裏山から粘土をとり、盲人形を作ることになり、即製のかまどで焼き、泥絵の具で彩色した浅草や亀戸天神などで売ったという。

今回の作品展は、これまで表立つことを嫌った松本市文化課

問い合は午後6時～11時



ひょっとこの面



カッパの面